

巻 頭 言



『e-journal「学会誌 JSPEN」創刊にあたって』

一般社団法人日本静脈経腸栄養学会 副理事長・編集委員会委員長
e-journal「学会誌 JSPEN」 編集委員長
滋賀医科大学医学部看護学科基礎看護学講座（生化・栄養）教授
滋賀医科大学附属病院栄養治療部部長

佐々木 雅也

一般社団法人日本静脈経腸栄養学会では、2015年より「日本静脈経腸栄養学会雑誌」を発刊してきました。これは、本学会の機関誌として発刊されていた「静脈経腸栄養」が発展的に学会誌となったものです。一般社団法人日本静脈経腸栄養学会は会員数が22,000名を超え、栄養の分野では、我が国のみならず世界最大の会員数の学会に発展しています。年1回開催される学術集会では2,000近い演題が発表され、10,000人以上の参加者により活発に意見交換されています。さらに、学術集会などで発表された成果は、日本静脈経腸栄養学会雑誌に数多く掲載されてきました。もとより、学会は学術団体として存在意義があり、学術的な成果を形に残すことは、学会として何よりも重要なことであります。

一般社団法人日本静脈経腸栄養学会は、1985年に発足した日本静脈経腸栄養研究会が、1998年に学会となり、さらに2013年に法人化されたものです。前身の研究会発足からはすでに30年以上が経過しました。近年、国内外では多くのe-journalが発刊されるようになり、コンピュータ社会でのペーパーレス化は一気に加速しています。そのような背景から、一般社団法人日本静脈経腸栄養学会においても、新たにe-journal「学会誌 JSPEN」を発刊することとなりました。「学会誌 JSPEN」に掲載される論文は、発表後半年間は会員のみアクセス・ダウンロードが可能ですが、その後は誰でも無料でダウンロードできるようになります。臨床栄養に関する研究や基礎研究の成果が「学会誌 JSPEN」に掲載されることにより、多くの医療人に公開できることには大きな意味があると考えます。また、印刷や発送を必要としないために、出版コストも少なくすむという利点もあります。掲載料は導入当初は免除とし、無料で投稿しやすくなっています。

栄養管理・栄養療法は、全ての患者における基本的な医療として認められています。しかしながら、臨床栄養の分野には、十分なエビデンスが存在していない点もまだまだ多く残されています。今後、学会誌 JSPEN 発刊により、各施設での取り組みや、臨床研究の成果が多くの論文として発表されることを願っています。さらに、e-journalを含めた一般社団法人日本静脈経腸栄養学会の活動が、栄養学の進歩に繋がることを期待しております。